

今回紹介する団体：鳥取県土地改良事業団体連合会

取組概要

内容：令和3年7月豪雨災害において、ArcGIS Onlineに付属する現地調査アプリを利用した災害発生情報の共有化を実施。

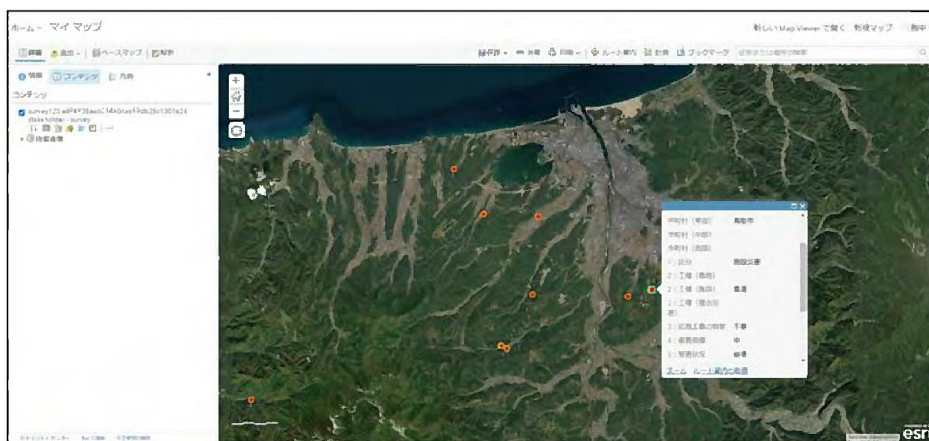
災害現場において、スマートフォン端末を利用した位置情報の取得、被災施設の情報、写真の登録を行うことで迅速な状況把握を実施。



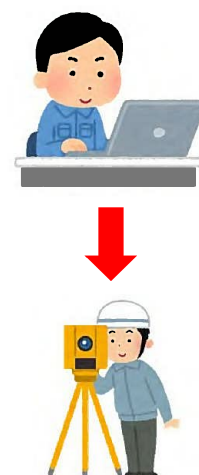
(端末入力画面1)

(端末入力画面2)

(端末入力画面3)



(送信情報の登録状況)



経緯：災害の発生状況下において、少ない人員で多くの現場を迅速に確認、把握し、その後の作業を円滑に進めるための情報共有が必要になった。

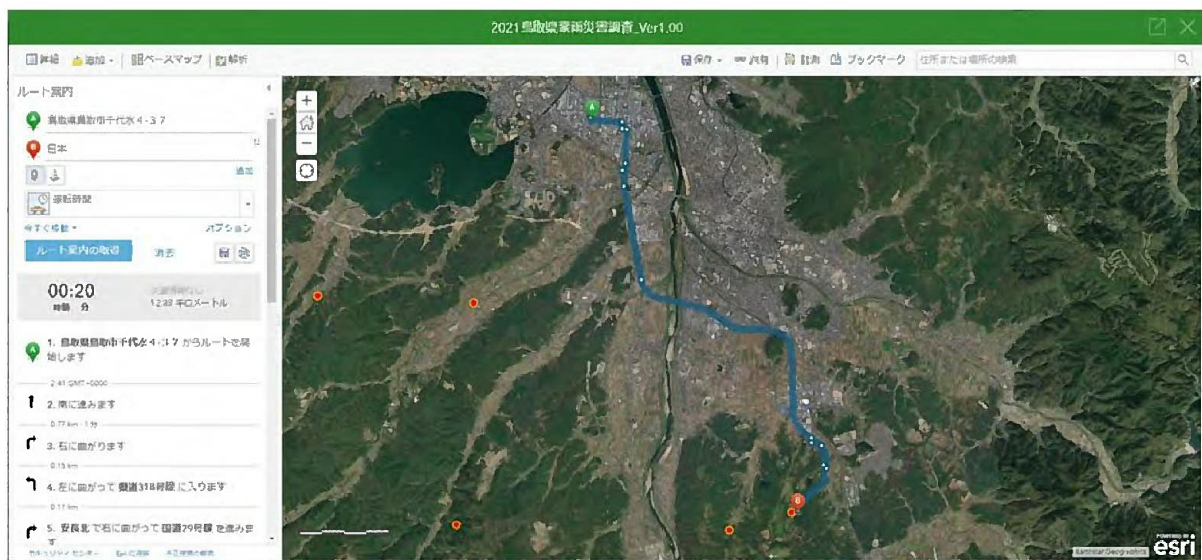
そのため、スマートフォン端末を利用した現地での災害情報の登録、地図作成による情報共有に取り組むこととした。

取組による効果

災害発生時には、少ない人員で多くの現場を確認するため、紙図面を利用した確認では、現地状況や施設位置の整理が煩雑になり、その後の作業への引継ぎにも支障をきたしていた。

しかし、スマートフォン端末を活用した位置情報の取得や写真の登録により、正確な災害情報が共有され、端末のルート案内を利用することで、その後の作業への引継ぎも容易になった。

また、従来は現地作業終了後の資料整理に半日程度を要していたが、1時間程度に短縮された。



(ルート案内の利用状況)

今後の活用予定

近年における災害の激甚化、頻発化する現状において、限られた人員体制での災害復旧に対応するため、今後も本システムの活用により更なる効率化を図る。

GISシステムのバージョン情報

ArcGISOnline

ArcGISSurvey123(現地調査アプリ)

■お問い合わせ先

鳥取県土地改良事業団体連合会 技術管理課 0857-38-9500(代表)